

神奈川県立生命の星・地球博物館の概要

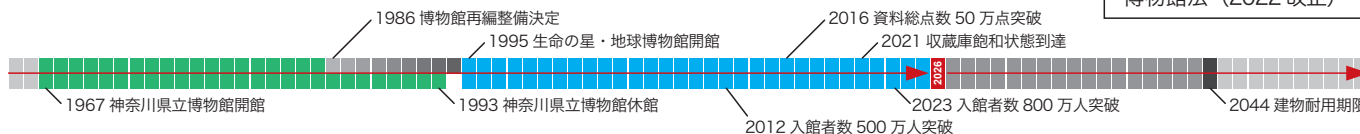
(2026年4月1日版)

● 設置目的

- ・博物館法に基づく公立の「登録博物館」として、神奈川県立の博物館条例により1995年に開館。
- ・神奈川県立の博物館条例第2条によって、その目的を「地球及び生命の営みに関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること」と定められている。

● 根拠となる法

- 日本国憲法(1947施行)
- 教育基本法(1947施行)
- 社会教育法(1949施行)
- 博物館法(1952施行)
- 神奈川県立の博物館条例(1966施行)
- 博物館法(2022改正)



● 使命

- ・地球と生命・自然と人間がともに生きることをテーマに活動する自然史博物館。
- ・地球全体の過去から現在にわたって幅広く、また、神奈川を中心に、自然科学に関する資料を収集・収蔵管理し、次の世代に引き継ぐ。
- ・あわせて、これらの資料を基にした調査・研究活動を原動力として、生涯学習や学校教育の支援ならびに社会的貢献を行う。
- ・人々の心に地球の自然に対する愛着と感動を呼び起こす。

2025年度 生命の星・地球博物館 総利用者数 288,817人

①

集める (資料収集)

- ・学術資料
- ・展示資料
- ・教材

※ デジタル化と体系的配架によるアクセシビリティの確保が調査研究や展示、普及教育への活用の道を拓く。

②

調べる (調査・研究)

- ・地域レベル (神奈川県内)
- ・地域レベル (県外の地域)
- ・全国レベル
- ・国際レベル

※ 集めた資料は研究されることで学術的価値が生まれ、その成果とともに展示や普及教育への利用が可能になる。

③

伝える (展示・教育・普及)

- ・常設展
- ・特別展、企画展の開催
- ・広報誌の発行
- ・レファレンス
- ・ウェブサイトによる情報発信

※ 専門性と研究成果に裏打ちされた展示や普及教育が信頼を高め、博物館のステータスを向上させる。

資料収集の成果

資料総数 (標本+アーカイブズ)
39,838点 (2025年度登録点数)
1,289,512点 (2025年度末までの累計)

外部研究利用
研究者による利用
302人 (2025年度の利用者)
23,372点 (2025年度の利用点数)
1,239,786点 (2025年度末までの累計)

研究以外の利用
他館での展示利用
テレビ番組・新聞報道での利用など
125人 (2025年度の利用者)
639点 (2025年度の利用点数)
89,751点 (2025年度末までの累計)

調査・研究の成果

学術的著作 (学芸員・特別研究員)
73編 (2025年度)
うち 地域レベル (県内) 36編
地域レベル (県外) 11編
全国レベル 25編
国際レベル 27編
2,886編 (2025年度末までの累計)

学術刊行物 (電子出版物)
研究報告 (年刊)
調査研究報告 (随時)
特別出版物 (随時)
神奈川県自然誌資料 (年刊)

展示・教育・普及の成果

入館者数
275,110人 (2025年度)
8,728,703人 (2025年度末までの累計)

講座・観察会・研修等参加者数
6,670人 (2025年度)

ボランティア活動人数
2,824人 (2025年度)

学芸員レファレンス対応人数
3,786人 (2025年度)

ウェブサイトアクセス数
590,388PV (トップページアクセス数・2025年度)
1,319,461PV (ページ総閲覧数・2025年度)

普及的著作 (学芸員・特別研究員)
39編 (2025年度)

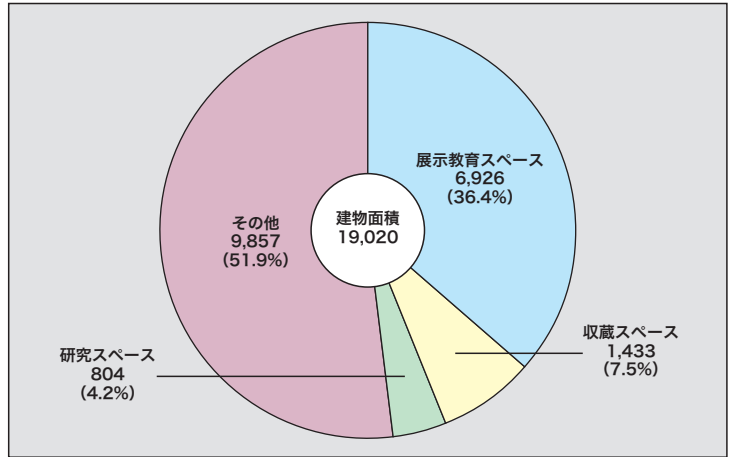


神奈川県立生命の星・地球博物館の概要

(2026年4月1日版)

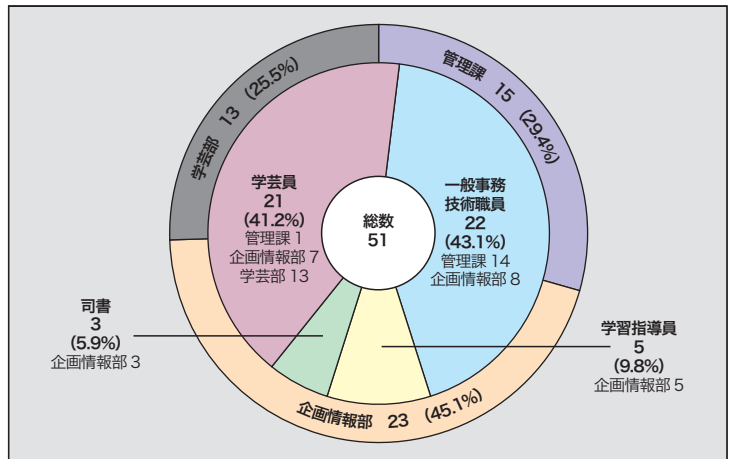
● 施設の概要

敷地面積	22,460.90 (m ²)
神奈川県と小田原市が1/2ずつ共有	
建物面積	19,020 (m ²)
展示教育スペース	6,926 (m ²)
収蔵スペース	1,433 (m ²)
研究スペース	804 (m ²)
その他	9,857 (m ²)



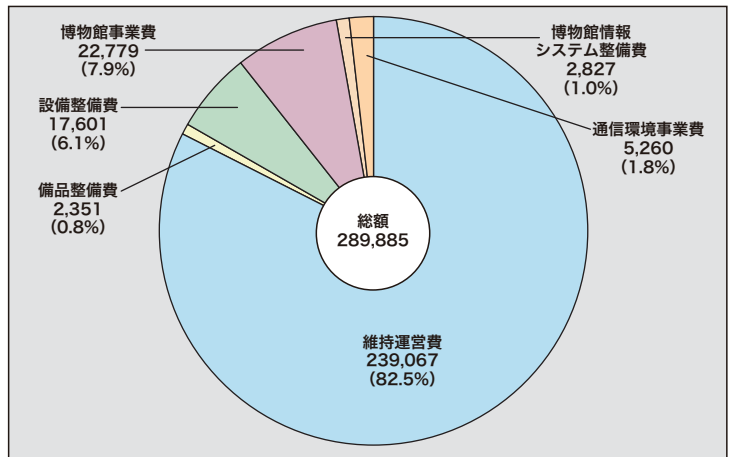
● 職員配置状況 (2026年4月1日現在)

職員総数 (再任用・会計年度任用を含む)	51 (名)
管理課 (館長・副館長を含む)	15 (名)
企画情報部 (学習指導員・司書を含む)	23 (名)
学芸部 (企画情報部と兼務の学芸員を除く)	13 (名)
一般事務・技術職員	22 (名)
学習指導員	5 (名)
司書	3 (名)
学芸員 (館長を含む)	21 (名)



● 予算状況 (2026年度当初予算)

維持運営費	239,067 (千円)
備品整備費	2,351 (千円)
設備整備費	17,601 (千円)
博物館事業費	22,779 (千円)
博物館情報システム整備費	2,827 (千円)
通信環境事業費	5,260 (千円)
生物多様性保全推進費 (環境農政局)	3,340 (千円)
地域制緑地管理費 (環境農政局)	1,848 (千円)



● 外部資金獲得状況 (2026年度)

日本学術振興会学術研究助成基金	10,218 (千円)
外部機関・民間等からの学術助成金	2,130 (千円)

● 入館者の推移

年度	人数	前年度比 (%)	累計人数
2016	315,978	(%)	6,472,981
2017	319,134	101.0	6,792,115
2018	313,533	98.2	7,105,648
2019	294,286	93.9	7,399,934
2020	131,986	44.8	7,531,920
2021	133,286	101.0	7,665,206
2022	262,931	197.3	7,928,137
2023	254,313	96.7	8,182,450
2024	271,143	106.6	8,453,593
2025	275,110	101.5	8,728,703

